

令和6年度 学校評価アンケート結果について

1 今年度の学校評価の概要

(1) 教職員評価→「学校評価（教職員評価）」

教育目標・教育課程・学習指導、生徒指導・進路指導、安全管理・保健管理、特別支援教育、組織運営、保護者・地域との連携、施設・設備・環境等についての評価項目別に自己評価を行う。

(2) 保護者評価→「学校評価アンケート（保護者用）」

学校評価を行う上で目標等の設定・達成状況や取組の適切さ等を保護者の視点で評価するとともに、保護者自身の本校教育活動や子育てへの関与について自己評価をする。

(3) 児童生徒による評価→「学校評価アンケート（児童生徒用）」

児童生徒の評価を通して、児童生徒の心情を理解し、教育活動の改善に活かす。

(4) 学校関係者評価

保護者の代表や地域住民を含む学校運営協議会において、関係者が学校の教育活動の参観や意見交換を通じて学校評価について評価する。

A「そのとおり」 B「ほぼそのとおり」 C「あまりそう思わない」 D「全くそう思わない」

2 教職員による評価

30名中30名の回答。C・Dの評価があった項目については、網掛けをしている。

No	評 価 項 目	評 価			
学校教育目標に関すること					
1	「自ら、学ぶ子 心を伝える子 活動する子」を育成する教育を行っている。【教・舎】	A	B	C	D
		13	15	0	0
2	一人一人を包み込み、学ぶ楽しさ・よろこびを実感する教育を行っている。【教・舎】	A	B	C	D
		13	14	1	0
分かる喜び、学ぶ楽しさが実感できる授業づくりに関すること					
3	個別最適な学びと協働的な学びを踏まえた授業（教育）を行っている。【教・舎】	A	B	C	D
		11	16	1	0
4	視覚、聴覚、触覚等の保有感覚や ICT 機器を活用した授業（教育）を行っている。【教・舎】	A	B	C	D
		12	16	0	0
5	家庭・地域・関係機関と連携した授業（教育）を行っている。【教・舎】	A	B	C	D
		11	17	0	0
社会で生きていくための力を育む教育の充実に関すること					
6	個々に応じたきめ細やかな自立活動の指導を行っている。【全】	A	B	C	D
		13	15	2	0
7	体力向上、健康管理、食育など、健康や食に関する指導を行っている。【教・舎】	A	B	C	D
		11	16	1	0
8	発達段階に応じたキャリア教育を行っている。【教・舎】	A	B	C	D
		8	17	2	1

安全で安心して学べる学校づくりに関すること					
9	子どもの人権を尊重した対応や指導を行っている。【全】	A	B	C	D
		18	12	0	0
10	子どもの心情に寄り添った生徒指導を行っている。【全】	A	B	C	D
		16	14	0	0
11	防犯・防災・事故防止などの危機管理や安全教育を行っている。【全】	A	B	C	D
		15	15	0	0
12	子どもにとって安心・安全な学校・寄宿舎になっている。【全】	A	B	C	D
		13	15	2	0
豊かな人間性を育む教育の推進に関すること					
13	社会性や自主性を育てる教育活動を行っている。【全】	A	B	C	D
		9	18	3	0
14	教育活動全体を通じた道徳教育（心の教育）を行っている。【教・舎】	A	B	C	D
		11	15	2	0
教職員の指導力向上・授業改善・専門性の向上に関すること					
15	合同授業、交流及び共同学習、地域資源の活用、体験活動等で豊かな人間性を育んでいる。【教・舎】。	A	B	C	D
		14	13	1	0
16	指導計画の評価や見直しなど、授業改善（指導改善）に努めている。【教・舎】	A	B	C	D
		12	16	0	0
17	教材研究、自主研修、研修会参加など専門性向上に取り組んでいる。【教・舎】	A	B	C	D
		15	12	1	0
18	学校は地域における視覚障がい教育のセンター校としての役割を果たしている。【全】	A	B	C	D
		15	15	0	0
19	保護者に適時・適切な情報提供をしている。【全】	A	B	C	D
		14	16	0	0
20	学校予算は計画的で効果的な執行をしている。【全】	A	B	C	D
		13	14	3	0
21	業務の効率化、勤務時間の縮減を意識して仕事をしている。【全】	A	B	C	D
		12	16	2	0

(1) 評価結果から

今年度は、函館盲学校グランドデザインの5つの分類に分けるとともに、文言の精査や項目の統合等をした。

評価は、今年度はC評価があるものは12項目あり、D評価は1項目ある。3名以上がC・D評価を付けた項目数が3項目あったが、概ねA・B評価である。

ア. 学校教育目標に関すること (No.1～2)

概ね A・B 評価であり、個々が学校教育目標の実現に向けて取り組むことができているが、不登校傾向の児童への対応が課題としてあげられている。

イ. 分かる喜び、学ぶ楽しさが実感できる授業づくりに関すること (No.3～5)

「個別最適な学びと協働的な学び」について、特に協働的な学びは十分ではなかったとの評価があった。交流及び共同学習や異学年での学習機会の設定とともに、学習集団を組むことが難しい児童生徒への協働的な学びの在り方について検討していく必要がある。

ウ. 社会で生きていくための力を育む教育の充実に関すること (No.6～8)

全ての項目において C・D 評価があるが、概ね A・B 評価である。

自立活動は、将来を見据え個に応じた指導・支援ができるよう、本校の指導計画の様式を含めて検討していく必要がある。健康や食に関する指導は継続して検討していく。

キャリア教育について D 評価があった。発達段階に応じたキャリア教育や児童生徒本人・保護者への情報提供を進めるため、キャリア教育や進路指導に関する資料（進路のしおり等）を整備するとともに、児童生徒の生活年齢に合った関わりを心がけていく必要がある。

エ. 安全で安心して学べる学校づくりに関すること (No.9～12)

人権の尊重や生徒指導の項目はよい評価であったが、安心・安全な学校・寄宿舎の項目では C 評価があった。緊急時の対応について、危険箇所や移動が難しい場所を把握し、避難経路や児童生徒への対応を検討していく。

オ. 豊かな人間性を育む教育の推進に関すること (No.13～18)

イ. と同様に、交流及び共同学習や異学年での学習機会を設定するとともに、児童生徒数に対する指導者数を精選し、集団の中で指示を聞いたり集団に合わせて行動したりする機会を意図的に設定する必要がある。

道徳教育については、道徳教育に関わる研修機会を設定し、道徳科の授業や、道徳科を要として教育活動全体で行う道徳教育への教職員の理解を進めることが必要である。

カ. 教職員の指導力向上・授業改善・専門性の向上に関すること (No.15～21)

概ねよい評価ではあるが、研修に関する項目で C 評価があった。

研修主事からの案内や働きかけ等による研修の奨励を引き続き行っていくとともに、教職員が研修に参加できるよう、まとまった時間の確保も課題である。

キ. その他 (No.19～21)

概ねよい評価であるが、予算執行と働き方改革に関わる項目で C 評価があった。

予算執行については、指導書や教材等の購入できるよう計画的な予算執行を行う。電気代や紙の節約については、随時注意喚起を行ったり、配付物をペーパーレス化したりするなど、節約の取組を進める必要がある。

働き方改革では、負担がかかっていると思われる教職員には、周りの教職員が目を配り、学部や分掌内で業務の調整を随時行っていく必要がある。

3 保護者による評価

10名中9名の回答

No	評 価 項 目	評 価			
		A	B	C	D
1	学校は、「自ら 学ぶ子 心を伝える子 活動する子」を育てていますか。	A	B	C	D
		5	3	1	0
2	お子様は、学ぶ楽しさ・よろこびを感じていますか。	A	B	C	D
		6	2	1	0
3	学校は、お子様に応じた授業（指導）をしていますか。	A	B	C	D
		7	2	0	0
4	学校は、保護者と連携した授業（指導）や支援をしていますか。	A	B	C	D
		9	0	0	0
5	学校で自立に必要な知識、技能、態度、習慣は身につけていますか。	A	B	C	D
		6	2	1	0
6	学校行事や校外学習、交流及び共同学習は適切ですか。	A	B	C	D
		7	2	0	0
7	学校の健康や食にかかわる指導の成果はありますか。	A	B	C	D
		7	0	2	0
8	学校は、将来や進路に向けた学習をしたり情報を伝えたりしていますか。	A	B	C	D
		5	3	1	0
9	学校は子どもの人権を尊重していましたか。	A	B	C	D
		8	1	0	0
10	教職員は子どもと十分なコミュニケーションを図っていましたか。	A	B	C	D
		8	1	0	0
11	学校は、お子様に安全な環境を提供していますか。	A	B	C	D
		8	0	1	0
12	学校でお子様の社会性や自主性は育っていますか。	A	B	C	D
		6	1	2	0
13	教職員は、専門家として頼りになりますか。	A	B	C	D
		8	1	0	0
14	学校は、保護者に必要な情報を伝えていますか。	A	B	C	D
		9	0	0	0
15	寄宿舍での生活や指導に満足していますか。（寄宿舍生のみ）	A	B	C	D
		5	0	0	0
16	本校に入学してよかったと思いますか。	A	B	C	D
		8	1	0	0

(1) 評価結果から

概ね A もしくは B の評価であるため、本校の取組については概ね肯定的に捉えていただくことができたと考える。7つの項目でC評価があった。来年度に向けて、保護者とも連携しながら改善できるように努める。

ア、「分かる喜び、学ぶ楽しさが実感できる授業づくり」について

学校教育目標の具現化とともに、子供たちが学校を楽しんでいるよう、指導内容や方法を工夫していく。

イ、「社会で生きていくための力を育む教育の充実」について

学校卒業後に向け、育成を目指す資質・能力を明確にした指導や支援の在り方について、授業改善

を進めるとともに、発達段階に応じたキャリア教育や進路に関する情報提供を行っていく。

健康や食に関する指導は、児童生徒の実態やニーズに応じて、家庭とも連携しながら検討・実施していく。

ウ. 「安全で安心して学べる学校づくり」について

今後も子どもたちの人権を尊重し、安全で安心して過ごせる環境づくりに努めていく。

行事の際、外部からの来校者については、受付や把握の方法を検討する必要がある。

エ. 「豊かな人間性を育む教育の推進」について

児童生徒の社会性や自主性の育成を図るため、他者と関わる場면을意図的に設定したり、見通しをもって主体的に活動できる場面を増やしたりするなど、指導・支援の充実を図っていく。

4 児童生徒による評価

小学部2名、中学部1名の計3名の回答

1	学校は楽しいですか。	A	B	C	D
		2	1	0	0
2	授業はわかりやすいですか。	A	B	C	D
		0	2	0	1
3	学校行事や校外学習は楽しいですか。	A	B	C	D
		3	0	0	0
4	自分でできることがふえましたか。	A	B	C	D
		0	1	1	1
5	けがや病気の予防（食事や運動も含めて）について学ぶことができましたか。	A	B	C	D
		2	1	0	0
6	他の学年の人とも仲よくしたり助け合ったりしていますか。	A	B	C	D
		0	2	1	0
7	学校や寄宿舎は、安全で安心して過ごせますか。	A	B	C	D
		3	0	0	0
8	先生は、話をしっかりきいてくれますか。	A	B	C	D
		3	0	0	0
9	困ったときなどに、先生はたよりになりますか。	A	B	C	D
		3	0	0	0
10	寄宿舎の生活は楽しいですか。（寄宿舎生のみ）	A	B	C	D
		0	1	0	0

（1）評価結果から

ア. 「分かる喜び、学ぶ楽しさが実感できる授業づくり」について

授業や日常の指導の中で児童生徒自身が学習の成果や成長をできるような場面や活動を設定し、「できた」「分かった」ことが実感できる授業づくり、授業改善を進めていく。

イ. 「社会で生きていくための力を育む教育の充実」について

育成を目指す資質・能力を明確にした指導や支援についての授業改善を進める

在籍児童生徒の実態を考慮しながら、学級や学部をまたいだ異学年での学習や集団での活動の機会の設定を意図的に行っていく。

ウ. 「安全で安心して学べる学校づくり」について

児童生徒と十分なコミュニケーションをとるなど、継続して安心・安全に学校・寄宿舎で過ごすことができる環境を整えていく。

5 学校関係者による評価

(1) 安全・安心な学校づくりに関連して

安全・安心な学校・寄宿舍、学習環境について、保護者や児童生徒からの評価が高いことは評価できる。このことは様々な教育活動のベースとなる重要なことであるため、引き続き整備してほしい。

(2) 地域等と連携した教育活動に関連して

地域の方々や関係機関と連携した教育活動について、スポーツ体験や職場体験学習、居住地交流などは子供たちにとって有意義な活動になっていると感じる。盲学校の教育の理解啓発にもつながるため、機会を拡充するとよい。

(3) キャリア教育に関連して

作業学習などで卒業後の生活を見通した授業が行われているが、その学習の成果を発揮、披露するような活動を設定し、子供たちの意欲を向上させることができるとよい。